

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)						区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E1140004		病弱児の心理・生理・病理 (Psychology, Physiology, and Pathology of Children with Health Impairments)								対面					
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修		2	3	教育学部		火1	日本語		単独						
担当教員	氏名 古長治基														
	E-mail h-kocho@oita-u.ac.jp 内線 6147														
授業の概要	病弱教育には様々な障害、疾患が含まれうる。そのような多様な疾患をもつ病弱の児童・生徒それぞれの病気を正しく理解し、それぞれの疾患の生理、病理的理解及び心理的特徴とそれらの相互作用の関連について学習する。さまざまな病気を抱える児童・生徒に対する教育場面における配慮や関係機関との連携について必要な知識を身に付ける。														
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 病弱の児童・生徒の主要な疾患について記述することができる									○						
目標2 疾患をもつ児童・生徒の心理的特徴と教育における配慮について具体的に説明することができる									○			○			
目標3															
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									8			2			
授業の内容															
1 健康・病気・障害の概念															
2 身体づくりと病気の種類															
3 遺伝性疾患の子どもとその疾患特性															
4 神経系疾患の子どもとその疾患特性															
5 循環器疾患の子どもとその疾患特性															
6 呼吸器疾患の子どもとその疾患特性															
7 悪性腫瘍の子どもとその疾患特性：白血病・腫瘍															
8 悪性腫瘍の子どもとその疾患特性：緩和医療とターミナルケア															
9 腎・泌尿器疾患の子どもとその疾患特性															
10 内分泌疾患の子どもとその疾患特性															
11 筋疾患の子どもとその疾患特性															
12 消化器・肝臓・栄養疾患の子どもとその疾患特性															
13 精神疾患の子どもとその疾患特性															
14 病気、障害の受容とセルフケア：教育・医療・保健・福祉の連携と支援															
15 まとめ															
ラーニンググループ	A:知識の定着・確認		○各テーマの講義内容に応じて学生が自らの理解をまとめる機会を設ける ○。学生からの疑問を元に、ディスカッションする機会を設ける。					工	そ 夫 の 他 の						
	B:意見の表現・交換														
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		配付資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する(22.5h)												
	事後学修		関連する資料を調べる、読む、動画を視聴する等する(22.5h)												
	想定時間合計		45												
教科書		テキストは指定しない。適宜資料を配布する。													
参考書		特別支援学校学習指導要領等 小野次郎・西牧謙吾・榊原洋一(編著)(2011) 特別支援教育に生かす 病弱児の生理・病理・心理 ミネルヴァ書房 ISBN-13 978-4623061532 全国特別支援学校病弱教育校長会(2012) 特別支援学校の学習指導要領を踏まえた病気の子どものガイドブック ジアース教育新社 ISBN-13 978-4863711808													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	討論への貢献		20%		○								
	課題レポート		30%	○	○								
	期末試験		50%	○	○								
注意事項	なし。												
備考	疑問や自分の意見について積極的に発言すること。発表、議論には参加者の積極的な参加を求める。												
リンク													
	URL												